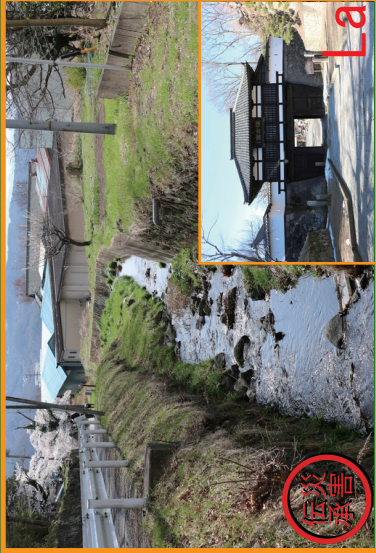


Df・FI/Tr

中沢川



Ver.1(2020/2/1)

災害伝承 DATA

所在地：長野県小諸市六供二丁目7

緯度・経度：北緯 36 度 19 分 55.3 秒

東経 138 度 25 分 43.9 秒

伝承形式：地形

種類 / 要因：土石流・洪水・湛水 / 集中豪雨

災害発生：1742 年（寛保 2 年）8 月 1 日（旧暦）

建立時期：1754 年（宝暦 4 年）8 月 1 日（旧暦）

指定等：小諸城三之門（国指定重要文化財）

周辺地形：山地・台地



観光情報はこちら

言い伝え・伝説

1742 年に発生した「戌の満水」の際に小諸藩内では、中沢川で大規模洪水が発生し、城下で 400 名以上の死者が出た他、小諸城も被災しました。復興が一段落した 1754 年八月朔日に、流死者の供養のため、中沢川沿いに供養塔が建立されました。

周辺案内

水害で流された六供、田町、本町はその後復興し、特に本町は北国街道の問屋街としての面影を今も古い街並みとともに残し伝えていきます。また、流失した小諸城三之門も明和 3 年（1766）頃に再建され、平成 5 年 12 月 9 日に国の重要文化財に指定され、小諸城址懐古園の入り口として、多くの観光客を迎えています。